
「死にたがり」なんです

ツン子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「死にたがり」なんです

【Nコード】

N2019BA

【作者名】

ツン子

【あらすじ】

メイド浦風 と屋敷の主人次屋の話。

浦風さんは咬爪症です。

改行はほとんど使ってません、仕様です。

「死にたがり」

とただ一言だけ言われた僕はその言葉の意味を理解できなかったよ
うで「わからない」と答えたら「呆れた」と返す数馬の視線の先に
作兵衛さんがいるのはいつもの事でそれは数馬が窃視症だからであ
ってまあ僕には関係ないが今度は僕が「君にも呆れた」と返せばも
うそこには数馬がいなくてなんだか僕が一人で見えない誰か若しく
は何かと話しているようで大変気持ちが悪かったのでその場にしゃ
がみ込んだのはいいがふと自分の仕事をほったらかしにしている事
に気が付いて慌てて立ち上がったら吐き気がするぐらいの眩暈がし
て倒れかけた時に誰かに支えられた感触がしたのでそちらの方に顔
を向けてみると次屋に支えられた僕は「なぜここにいますか」
と聞いてみたところ「んー、藤内がいますと思つて来た」と答える次
屋に犬かコイツはと思つていたら僕の髪の毛に顔をもふもふしてき
て「いい匂い」と言う次屋を殴りたくなっただけど一応主人なので殴
らないでおくがちょっとこっ恥ずかしくなつたので次屋の体から身
を離れたら今度は手を握つて僕の爪を見て「綺麗なのに勿体ない」
というので変な奴と思つて「なぜですか」と聞いてみると「なにが
？」と返ってきたから「なぜこんなにも醜い私の指を綺麗と思つた
のです」と聞くと「綺麗だから」と答えて私を抱き締めた顔を見て
みれば赤くなっていた事に気付いてちよつとした興味本意で「誰か
に惚れたんですか」と問うと少し困つたように

「……ああ、惚れたよ」

あと、もう一言

「死にたがりにな」

私はそつと目を閉じて

「貴方はホントに虚誕な人だ」

と呟いた。

それでも私は「死にたい」と嘆く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2019ba/>

「死にたがり」なんです

2012年1月5日01時50分発行